

平成 28 年度第 1 回「人吉市地域公共交通活性化協議会」

期 日：平成 28 年 7 月 20 日（水）

時 間：14:30～15:30

場 所：人吉市東西コミセン 2 階会議室

出席者：人吉市；松田副市長（会長）

市民・利用者；三倉会長（老人クラブ連合会）

交通事業者；村口所長（産交バス株式会社人吉営業所）、川上会長（人吉球磨タクシー協会）、
田中代表（人吉市予約型乗合タクシー運行事業者）

道路管理者；水野課長（人吉市建設部道路河川課）

警察；代理：今村係長（熊本県人吉警察署交通課）

学識経験者その他；橋本准教授（熊本高等専門学校）、大井准教授（大分大学経済学部）、高山
副代表理事（人吉温泉観光協会）、速永事務局長（人吉市社会福祉協議会）、
西山課長（人吉医療センター総務企画課）、小原首席運輸企画専門官（国
土交通省九州運輸局熊本運輸支局）、田上首席運輸企画専門官（国土交通
省九州運輸局熊本運輸支局）

オブザーバー；高瀬課長（錦町総務課）、豊永課長（山江村総務課）、大瀬課長（球磨村総務課）
事務局；瀬上課長、池下主幹兼交通政策係長、古賀主事（人吉市総務部自治振興課）
コンサルタント；竹隈、金沢、宮崎

議事（1）：委員等の就任（案）について

（松田副市長：会長）

- ・議事（1）に関して異議等はないか。

（委員一同）

- ・異議なし。

議事（2）：平成 27 年度事業報告について

議事（3）：平成 27 年度決算報告及び監査報告について

（松田副市長：会長）

- ・議事（2）（3）に関して異議等はないか。

（委員一同）

- ・異議なし。

議事（4）：平成 28 年度補正予算（案）について

（田上首席運輸企画専門官：国土交通省九州運輸局熊本運輸支局）

- ・繰越金で 149,000 円と記載されているが、前年度の決算の残金が 149,252 円となっており、端数の
252 円の処理はどのようなになるのか。

（事務局）

- ・ご指摘のとおり、予算には端数を切って上げているが、自治体の予算を立てる際、慣習上千円単位
で計上することとなっているため、予算では 149,000 円としている。

(松田副市長：会長)

- ・自治体の予算の立て方が千円単位であり、歳入は厳しく、歳出にはそれをオーバーしないような組み立てで予算を作成している。

(松田副市長：会長)

- ・議事（４）に関して異議等はないか。

(委員一同)

- ・異議なし。

議事（５）：人吉市地域公共交通網形成計画の策定方針（案）について

(大井准教授：大分大学准教授)

- ・P8 に関係団体ヒアリングとあるが、病院の送迎や福祉輸送、デイケア等に関しては社協等を通じて実態を把握しておく必要がある。現状としては、このような輸送手段を利用している人が多く、公共交通を利用してもらえない状況である。
- ・P26 の工程表で今回の補助金を受けていると思うが、恐らく第三者評価の対象となり、昨年度のスケジュール実績であれば２月頃に評価委員会があるため、１月の中旬くらいには提出を求められると思う。完成できるようにスケジュールを考えてもらえれば幸いです。説明事例としてピックアップさせる可能性もある。

(三倉会長：老人クラブ連合会)

- ・実証実験に関して、地区懇談会等において大畑地区は以前開催していると聞いているが、永野地区に関して地域のニーズや意見は聞いているのか。
- ・工程表で８月に地区懇談会を開催して、１０月の実証運行までに間に合うのか。
- ・この件に関しては老人クラブとして非常に関心が高く説明を求められるので、役員会等で全体像を説明してもらいたい。

(事務局)

- ・地域での懇談会は、今週から来週にかけて地域の町内会長に説明し、その後、地域での懇談会を開催したいと考えている。
- ・日程については、記載している内容に基づき進めていきたいと考えている。

(松田副市長：会長)

- ・老人クラブへの説明については事務局の方で調整してもらいたい。

(川上会長：人吉球磨タクシー協会)

- ・実証実験について、大畑地区が対象となっているが、乗合タクシーの運行を開始し、不便ということで当日受付を今年１月から開始している。永野地区は空白地域ということで話を聞いていたが、大畑地区に関しては、改善を図っている中での実証実験だが意味があるのか。
- ・ブロック会議、地域公共交通会議、活性化協議会がどのように違うのか教えてもらいたい。

(事務局)

- ・大畑地区に関しては、様々なところで改善要望があつて、１月から当日予約が可能となり緩和された部分はあるが、本地区は地域的に広く、人口も多いため、１本の路線ではかなり遠くなる方もいらっしゃる。そのような中で、区域運行でどのように利便性が改善するか検証したいところである。
- ・現在運行している乗合タクシーと並行しての実証実験となるが、今回の運行形態と従来の乗合タクシー、どちらの方が利便性が高いか検証したいという思いで実験をするところである。

- ・2 つ目の質問に関して、地域公共交通会議は道路運送法上定められた会議であり、活性化協議会は地域公共交通網形成計画を作成するにあたり立ち上げた協議会で、役割が若干異なる。本会議の中でも話がでている形成計画の作成については、行政が直接実施するのではなく、本協議会が主体となりすすめていくもの。地域公共交通会議は人吉市の附属機関としての性格を有している。

(松田副市長：会長)

- ・後程、川上会長へ詳しく事務局から説明してもらいたい。

(松田副市長：会長)

- ・議事（５）に関して異議等はないか。

(委員一同)

- ・異議なし。

以上